

<放課後等デイサービス> サービス提供に関する自己評価

教室名 ジョブサU18 立川北口教室
評価日 2017年1月31日

	評価項目	はい	いいえ	実施状況
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		トレーニングルームはゆとりある広さを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		法令で必要とされる人員数を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>	今後、子どもの特性を踏まえてスロープや手すりの設置の必要性が生じた際には対処していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		日次で職員参加のMTGを実施しています。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		当社ホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	評価を適切に行う能力を有する外部人材を調査中です。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		社内の研修だけでなく、外部の研修に参加する機会も確保しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		事前にアセスメントを取った上で放課後等デイサービス計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		プログラムの立案を行う開発チームが担当しています。
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<input type="radio"/>		月間予定を組み、子どもの状況や課題に応じた多様なプログラムを準備する等、固定化や偏りが起きないように工夫しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し支援しているか	<input type="radio"/>		優先順位をつけて目標を設定し、小集団のトレーニングを基本として、子どもの状況に応じて個別フォローを織り交ぜた放課後等デイサービス計画を策定しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	15 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		

	評価項目	はい	いいえ	実施状況
適切な支援の提供	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回指導記録をとり、子どもの成長や状況に合わせた指導が行えるよう記録を活用しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		相談支援事業所と連携して、定期的にモニタリングを行い、必要に応じて放課後等デイサービス計画の見直しをしています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		基本活動のうち、「ア 自立支援と日常生活の充実のための活動」、「イ 創作活動」、「エ 余暇の提供」を組み合わせる支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当する職員 1 名程度で参画することが多いです。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校の管理職と面会のうえ、当事業所の支援内容と当該学校の特別支援教育方針に関する相互理解、（保護者同意時の）連携・協力の申し合わせを行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	これまでは医療的ケアが必要な子どもがいなかったため、主治医と連絡体制を整えるケースはありませんでした。今後必要に応じて主治医との連絡体制は整えていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所と情報共有を行っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	これまで障害福祉サービス事業所からの要請はなく、連携をしたケースはありませんでした。今後は保護者の意向を確認のうえで当事業所からも支援内容等の情報を提供していきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターと連携し、研修にも参加しています。今後は、他の専門機関との連携にも積極的に取り組んでいきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	障がい受容をできていなかったり、放課後等デイサービスの利用を周囲には知られたくない等の繊細な事情を抱えた子どももいるために、障がいのない子どもとの交流には慎重になっています。今後の検討課題とします。
	27 (地域自立支援)協議会へ積極的に参加しているか	○		事業所を代表して一部の職員が参加しています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○		毎回のトレーニング終了後や毎月郵送するお便りにて保護者様へフィードバックを行っています。また、定期的に保護者面談も行っています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		子どもへの対応に関する個別の助言をしています。今後は講義形式のペアレント・トレーニングも検討していきます。
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に資料を使って丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		主にトレーニング後のフィードバック時や電話相談にて対応しています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	小学生の子どもをもつ保護者が、中学・高校生の子どもをもつ保護者の「子育て経験談」を聞く機会をつくったり、同世代の子どもをもつ保護者会を開催する等計画していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付担当者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えるとともに、苦情があった場合の社内フローも定め迅速かつ適切に対応しています。

	評価項目	はい	いいえ	実施状況	
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		イベント案内やお知らせ事項がある際は、書面にして発信しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	○		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管し、書類を取り出す時以外は施錠しています。また、個人情報にアクセスできるパソコンにはパスワードを設定しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		定期面談の実施や緊急時連絡用のメール配信システムの導入等を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	繊細な子どもが多いため、見知らぬ人を事業所に招くことに抵抗感を持つことが想定され慎重にならざるを得ません。今後の検討課題とします。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員への周知はしています。今後は保護者へも周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止マニュアルを使って研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかを、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	今まで身体拘束を行ったことはありません。ただ、万が一に備え、今後は子どもや保護者に対する事前説明、および放課後等デイサービス計画への記載を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○	保護者の指示に基づき対応しています。今後は保護者に対して医師の指示書の提出を求めることも検討します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事故に繋がりそうだと思う出来事を必ずヒヤリハットで報告しています。そして、職員間で情報を共有し、傾向や原因を明らかにし、十分な対策を取っています。